

日立一高ラグビー部OB会 会報

<http://www.ichiko-rugby-obc.com>

○ 「再生元年 新たなスタート」 OB会会長 吉田 尚一

2004年4月、会長職を受けて3年余、部創立60周年記念事業も、昨年6月にOB会員の皆様のご協力により、無事に終える事ができましたことを改めてお礼申し上げます。

さて今年4月に現役の監督に38回卒の橋本先生を迎え、新年度のスタートを切りました。この機に 新入部員が14名入り、久しぶりに総数33名（3年生5名、2年生10名、1年生14名、マネージャー4名）の大所帯となり、復活の兆しが見えて参りました。

今、想えば、昨年8月の菅平高原での夏合宿は、橋本先生率いる太田一高との合同で行われ、そこに31回卒の益子君、30回卒の照沼君、45回卒の金澤君、そして私、尾又副会長（監督補佐コーチ兼）、近藤幹事長が参加し、20数年ぶりに盛り上がった合宿が行われました。その時、私は60周年を機に、再生元年としての新たなスタートが切れると確信しました。

その第一歩として今年4月、新入部員が14名入り、部活動としての毎日の練習も活況を呈してきており、先の楽しみが出来て参りました。この機にOB会員の皆様が現役への関心を持っていただき、母校に、試合会場に顔を出していただきご声援・ご指導そして応援をして頂きたいと思っております。

今年も益子君他4名が菅平の合宿に来てくれ、精一杯の指導をしてくれました。この6月には父母の会も結成され、父兄20名、先生、OB会役員5人が参加し、意見交換を行いました。現役、監督、父母の会、OB会の四者が一体となつてこそ、日立一高ラグビーの伝統が継承され、発展して行くのです。近い将来、以前のように、県内ベスト8、ベスト4になってくれるものと信じ、OB会で根気強く応援して参りましょう。

簡単ですが、OB会員の皆様の益々のご健勝と力強いご支援をお願いし、再生元年を振り返つてのごあいさついたします。



○ 平成19年度学年幹事会(定例総会)開催

前年度の事業報告、本年度の事業計画等を審議する学年幹事会が7月14日(土)に出席25人(委任状32人)で開催され、近藤幹事長から議案の説明があり、原案通り承認されました。その要旨を議題に則りご説明いたします。

1. 平成18年度活動報告

1. 1 重点方針のFW

1) “現役の支援強化により平成20年度までにCクラスからAクラスへ”

先生、生徒の努力で昨年4月に新入部員を10人確保する事が出来、やっと単独チーム(15人ギリギリ)で大会に出られるようになったが、如何せん1年生が主体のため、善戦するも1・2回戦で敗戦。

当年度は新たに新入部員が14人入り、総員25人(3年生1人)となり、常時チームとしての練習ができるようになり、今後に期待できる。

2) “財政の健全化一年間活動予算に見合う年会費の徴収促進”

昨年6月に行った創部60周年記念事業の一つとして“年会費制の導入”を決めた。その初年度で、記念式典に参加したOB会員の方から、入場時年会費を徴収し、不参加者には後日書面を郵送し、年会費納入のお願いをした。

その結果、連絡のつく総員531人に対し納入者192人(納入率36.2%)、目標額500,000円に対し納入金421,000円(達成率84.2%)と大幅に未達成となった。今後の大いなる課題として取り組んでいく必要がある。

1. 2 活動報告

- 1) 役員会、学年幹事会の定期開催 2) OB会報の定期発行 3) 現役への資金援助
4) 蹴り初め援助 5) ゴルフコンペへの援助 6) 交流・親睦援助 7) 慶弔など ほぼ予定通り実行することが出来た。

1. 3 会計報告

上記活動を予算内(予算800,000円に対し717,000円)で遂行し、その結果当年度繰越金は2,208,677円と前年度末2,541,703円に対し333,026円の減少となった。
翌年以降の収入増を図らないとOB会運営は苦しくなってしまう。



2. 平成19年度事業計画

2. 1 重点方針—前年度を踏襲する

- 1) 現役の支援強化—平成20年までにCクラスからAクラスへ
2) 財政の健全化

2. 2 活動計画と事業予算

- 1) 学年幹事会の定期開催 2) OB会報の定期発行
3) 現役への資金援助 4) ゴルフコンペ援助
5) 交流・親睦援助
6) 慶弔 他の経常的活動をきめ細かく実行するために800,000円を予算計上、このほかに一時支出として中古のスクラムマシンを100,000円で購入する。

以上合計900,000円を活動予算とする。

2. 3 財政収支予算

- 1) 前年繰越金・・・2,208,677円
2) 当年度収入・・・・・・600,000円 (OB会費:役員17人×5,000円+学年幹事56人×3,000円+一般会員177人×2,000円=合計250人で600,000円)
3) 当年度支出・・・・・・900,000円 (前項事業予算)
4) 当年繰越金・・・・・・1,908,677円

(問題点と打開策)

OB会費を予算通りに集めるのは至難である。打開策として

- イ) いろいろな機会を利用してPRをして行く (OB会報、会員宛に納入お願いのお手紙、諸会議の席上でのお願い、OB会ホームページなど)
ロ) OB会報に会員が経営する会社の広告を出し広告代を頂く。⇒ 役員がお願いに行く
ハ) OB会員の中から篤志家を探し、大口の寄付を頂く。⇒ 役員がお願いに行く
ニ) 上記を実行していく途中に中間報告を学年幹事に言い、当該年度の未納者に納入促進を図っていただく。

3. 広報手段としてホームページの開設

OB会員がもっともっと一高ラグビーに興味を持って頂き、現役への声援・応援をしてもらうために、現役の年間計画、試合の日程、日常の練習日程など、また、OB会の活動計画、活動報告などタイムリーに知らしめるために、OB会独自のホームページを開設致しました。(アドレスは8ページに掲載してあります)。管理人は当面、木下事務局長にお願いします。OB会員のご利用を切にお願いいたします。

4. 役員改選

新任として益子俊志氏(昭和53年度 31回卒)が加わり、ほか現体制16名は継続する

5. 学年幹事の見直し、改選のお願い

今年は創部61年になります。よってOB会の学年幹事は本来、58学年分(1学年に一人以上いても可)。それなのに定期的に学年幹事会を開催しているが、いつも30人弱の参加となっています。

出欠状況をチェックすると欠席者が偏っています。

その学年を代表して会議に出てもらい、同期のメンバーに連絡していただく必要がありますので、出席ができる方を見直した上、選任していただきたくお願いいたします。別途事務局から選任届けの依頼状が届きますので12月締め切りでご提出願います。

○ 日立一高ラグビー部 監督交代

本年4月に、県立太田一高から橋本晃輝先生（OB・昭和60年度 第38回卒）が着任され、昨年4月から1年間ご指導をいただいた鈴木康之先生は、副顧問というかたちで引き続きお世話になることになりました。

橋本新監督は筑波大学を卒業後、水戸一高（6年）・太田一高（10年）で教鞭をとり、進学校である両校を県内ベスト8に導くなど、情熱あふれる指導と工夫を凝らしたチーム作りは高い評価を得ています。

監督の交代に伴い、お二人からそれぞれごあいさつをいただきます。

「新任のごあいさつ」 橋本晃輝 新監督

日立一高ラグビー部OBの皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

このたびの人事異動で茨城県立太田第一高等学校より転勤してまいりました。母校で教鞭をとり、なおかつラグビー部の指導ができることは、私自身とても幸せなことだと思っております。また、私は勝負の厳しさ、自分を信じること、仲間を信じることなどラグビー精神を通して、多くのことを学び育てていただいた本校ラグビー部にもとても感謝しております。

今年度は、3年生5名、2年生10名、1年生14名、マネージャー4名で活動しております。元気のいいニューフェイス（1年生）がたくさん入部し、4月以降さらに活気が出てきました。春シーズンの試合結果は、まだまだ納得できるものではありませんでしたが、一日一日の練習を精一杯頑張っておりますので、これから楽しみにしてください。

これからも、OBの皆様、保護者の皆様など多くの方々にご指導・ご支援をいただきながら逞しい部員を育てていきたいと考えております。

私を育ててくれたこの場所で、自らのできる限りの力を尽くし、本校ラグビー部発展のため、精一杯努力する所存であります。何卒ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



「退任のごあいさつ」 鈴木康之 前監督

昨年4月に日立一高に着任以来、1年間という短い期間ではありましたが、創部60周年という記念すべき年に伝統ある日立一高の監督として名を連ね、OBの皆様の温かいご支援の中、指導させていただいたことは終生忘れえぬ良い思い出となりました。

戦跡の面では、皆様のご期待に十分に応えることはできませんでしたが、1年生部員の確保等により、各大会とも単独チームで臨むことができ、微力ながらチームに貢献することができたのではないかと考えております。

これからも、副顧問ということで、陰ながらラグビー部を支えてまいりたいと存じますので、今後ともどうかよろしく願いいたします。

甚だ簡単ではございますが、退任のごあいさつとさせていただきます。

○ 今年度の戦績

【新人大会】	1回戦	日立一	14	—	19	水 城
	順位決定戦	日立一	7	—	17	水戸一
【関東大会予選】	1回戦	日立一	45	—	0	江戸川学園取手
	2回戦	日立一	10	—	32	水 城
【県総体（兼）国体予選】	Cブロック					
	1回戦	日立一	12	—	24	常総学園
	3位決定戦	日立一	69	—	5	荻 崎
【菅平合宿】	柏 陽（神奈川）	7—17	&	10—0	明 和（愛 知）	0—57
	昭和第一学園（東 京）	12—10			仙 台（宮 城）	10—24
	清水南（静 岡）	48—10			横 浜（神奈川）	7—19

○ 今後の公式戦日程（組合せ及び詳しい日程は、後日お知らせします。）

【全国大会県予選】	10月13日（土）・20日（土）・27日（土）
	11月 1日（木）・10日（土）・17日（日）
【新人大会】	12月23日（日）
	1月 6日（日）・12日（土）・19日（土）・27日（日）
	2月 2日（土）

○ 第2回OB会会長杯ゴルフコンペのご報告と第3回開催のご案内

(第2回の報告)

昨年10月21日(土)、茨城パシフィックカントリー倶楽部で17人が参加し、秋晴れの中、益子氏の300ヤードドライバーショットなど賑やかに行われ、村山氏が第1回に続いて連続優勝した。

開催に際し、岡部氏、後藤氏、松永氏、秋山氏、大友氏からご寄付を頂きました。ありがとうございました。

尚、第1回の参加者は27人に対し、今回は17人と10人少なく、事務局から今後の開催(継続、中止)をどうするかと申し出があり、意見交換の結果、折角出来たコンペなので継続することとなった。

次回は多くの方の参加を待っています。

ゴルフ終了後OBが経営している平潟港温泉・民宿“鈴せい”で11人(ゴルフ不参加者3人含む)が参加して1泊での酒盛りご苦労さん会を行い、旧懇を温めました。



(第3回のご案内)

秋空の元第3回のゴルフコンペを下記の通り、開催いたします。

すので、多数のOB会員の方のご参加をお待ちしております。後日、出欠の返信つきご案内をお送りいたします。

今までは幹事団の知り得る範囲で案内を出していましたが、それ以外の方でゴルフをやっている方は事務局宛ご連絡下さい。折り返し今回のご案内をお送りいたします。

1. 日 時 11月11日(日)
2. 場 所 茨城パシフィックカントリー倶楽部
3. 費 用 11,000円(プレイ代、昼食代、パーティ代、賞品代込み)
4. 連絡先 OB会幹事長・ゴルフ同好会事務局 近藤 雅年
5. 宿泊慰労会 希望者で今回も民宿“鈴せい”で1泊慰労会を行います

○ あの人は今

第5号から、20～30歳代・40～50歳代・60歳以上の各世代に、お一人ずつ昔の思い出や近況等のご紹介をいただくコーナーを設けました。

今回(第4回)は、朝日静夫さん、後藤秀次郎さん、笠井知洋さんの3人をお願いしました。お忙しい中ありがとうございました。

「もっともっと走り込め」

朝日 静夫 (昭和28年度・第6回卒)

昭和28年に日立を離れ、東京に出て大学・社会人を経て40数年ぶりに故郷の日立に戻り、家を新築し、女房と二人暮らしをしています。

最近は庭園、菜園作りに勤しみ、四季折々を楽しんでいます。

時に、昔の日立一高ラグビー仲間と集い、温泉旅行やバーベキューをして昔話に花を咲かせています。その仲間と一高グラウンドや試合会場に出かけ、現役を応援して昔を思いだし、血が騒ぐことがあります。

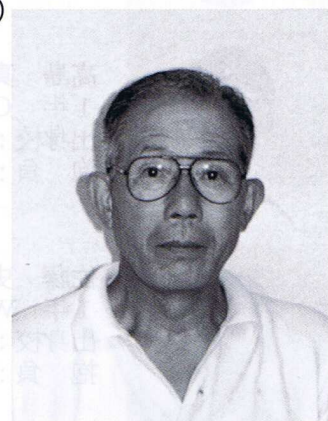
入学した翌日、ラグビー部に入りたいと部室に行くと、先輩部員が数人いて、珍しい奴が来たなと俺を見ていて、授業が終わったら、グラウンドに来いと言われました。

その日から石ころだらけのグラウンドを裸足で先輩達の練習が終わるまで、唯唯、走ら

され、それが一週間位続いた頃に、はじめて、大和田先生がパスの仕方を教えてくれ、あとは当時の田沢主将が走りながら皆の練習を見て覚えるよう云われ、夏合宿まで誰の指導も無く、見よう見まねで覚え、走る事に専念しました。

夏合宿に入って、やっと皆と一緒に練習に入れてもらい、それこそ戸惑いながらも何とか1週間、皆についていくことが、出来て、自分なりに自信らしきものを持つ事が出来たことを覚えています。

この1年の合宿で黒田先輩に、午後の練習が終わってから、とにかく走らされ、とてもきつかったことを今でも一高のグラウンドに行く度に思い出します。いろんな指導をしてくれた事より、夏合宿でいつも同じパターンで3年間、



走る事を主として鍛えてくれた事が、大きくない自分が、大学に行き、無事ラグビーが出来たと、今でも信じております。

あの合宿で黒田先輩の厳しい指導が無く、程ほどに自分なりにやっていたら、今の自分はなかったと思います。

大学の夏合宿も体力とスピードをつける練習が主で、それに一生懸命ついていけば、それなりに自分のものとなり、結果が出るものです。

今の一高生も自分のために、全力で走り、スピードとスタミナをつけるよう頑張り、結果を出してくれる事を願っています。あまりこまごました技術的なことを言ってもはじまりません。

ラグビーは遊びでなく、勝負事で、他人、他チームに勝つためには、学校の練習だけでなく、家に帰ってからも走りこまなければなりません。身体の小さい一高生には必須である事に気がついていただきたいものです。

走れないラグビーはラグビーではありません。走って走ってスピードとスタミナをつけることが練習の基本です。

「青春よ！蘇れ！」 後藤 秀次郎（昭和41年度 第19回卒）

卒業して40年、・・・早いものです。

薄れゆく記憶を呼び起こして・・・青春よ！蘇れ！・・・

昭和39年5月、中学校（常北中）の先輩（鉄 浩 氏）の紹介で入部、監督は勿論、ダンディーな大和田幡市郎先生でした。・・・無我夢中の一年間が過ぎ、・・・監督が松本 宏 先生へ・・・自慢できる成績は残せませんでした。が、良き先生方、そして、良き先輩方、良き後輩に、めぐり逢えましたことが何よりの宝物となりました。

昨年、第1回 OB会会長杯ゴルフコンペのご案内を頂き、参加させていただきました。尾又 篤 先輩、松永 啓 先輩、そして後輩、村山 功、そして当日、同期のフロントロー1・2・3（石井 博美、鈴木 滋、後藤秀次郎）が揃って一緒にラウンドさせて頂き楽しい時間を過ごすことができました。何よりの思い出と成りました。

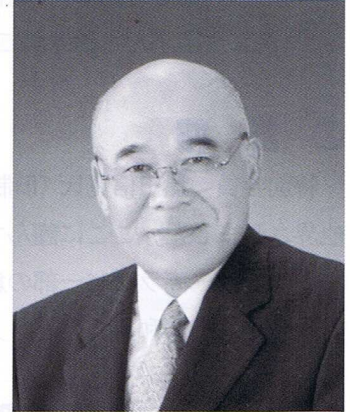
幹事の皆様、有難うございました。

さて、私事になりますが、現在、東京都調布市に愛妻と猫一匹、至って静かな生活をしています。仕事は千葉県市川市にて、サービス会社を、今年で創立十七年になります。振り返れば、多くの方々と、そして多くの物事との出会いがあり、その繰り返して、今日がある。・・・亀井 勝一郎・・・曰く・・・“人生とは邂逅である。”

やっと、それが理解できる年齢になりました。

お久しぶりのOB会員ではありますが、陰ながら応援しております。

最後に皆様の益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。



「ラグビー人生」 笠井 知洋 ((昭和59年度 第37回卒)

高校3年間ラグビーをやり、先輩たちの大学での恐ろしい話が引き金となり(?)、大学ではラグビーをやらず。地元就職した後、“ポパイクラブ”でラグビーを再開し、“大甕工場ラグビー部”を経て、33才で引退。その後は家庭サービス、ゴルフといったラグビーには縁のない日々を過ごしておりました。

40才も間近となったそんなある日、先輩である黒沢次郎さんから『平塚でやる“ビーチタッチフットボール”大会に参加するから練習するぞ』という誘いがあり、不惑にして、再び“ラグビー”を始める事となりました。大甕にある“古房地公園”の街灯の下、黒沢次郎さん、後輩の高橋晃太郎君、城井君、鈴木誠二君の5人で1回/週“タッチフット”による練習を開始。最初の数ヶ月は1回走るたびに休憩といった内容でしたが、継続して練習を続けた成果、“常陸不惑クラブ”でのラグビーの試合に参加しても、一試合フルに走る事が出来るまでの体力をつける事が出来ました。

走れるようになり、再びラグビーの楽しみを味わう事が出来るようになった今日この頃、“死ぬまでラグビーを続けるぞ”という気持ちも湧いてきました。また、自分の息子たち（6才、4才）も日立ラグビースクールに入れ（まだたまにしか行ってませんが…）、将来一緒にプレイするといった夢も…。

不惑にしてまた始まった“ラグビー人生”、今後の自分の人生の中で有意義なものとなるよう自分が動ける限り頑張っていきたいと思います。また、日立一高ラグビー部の仲間は基より“ビーチタッチフットボール”での仲間、“常陸

不惑クラブ”での仲間も一生の友として大切にしていきたいと思います。

尚、説明が遅くなりましたが、“ビーチタッチフットボール”とは浜辺で“タッチフット”をする競技(前後半6分(1分休憩)で、5対5で対戦。5回攻撃が出来、その内1回だけ前に投げられる。選手交代はその都度自由。)です。

わがチーム“コボウチクラブ”は今年の平塚での大会が初出場です。今回はどういったものかを体験するといった意味合いで、全国大会がないトーナメントに参加しますが、来年は全国大会を目指しますので、参加してみたいと思われる方は連絡お待ちしております。

[今回の参加メンバー]

黒沢次郎さん、糸井さん(第36回卒)、笠井(第37回卒)、
矢内君(第38回卒)、高橋晃太郎君、城井君、山中君、工藤君
(第39回卒)、鈴木誠二君(第40回卒)



○ 訃 報

特別会員 黒田信寛氏(旧制日立中学—東京教育大学・現筑波大学—明治大学教授)にありましては3月に80歳で他界されました。ここに謹んでお悔やみ申し上げます。

氏は日立一高ラグビー部の創立時から10回卒くらいまで、同じ教育大学卒の特別会員 樫村旭光先生(物故)、特別会員 鶴巻和男先生と3人で大和田幡一郎先生を強力にサポートして下さった大恩人でありました。

○ ホームページを開設しました

このほど、長年の課題だったラグビー部OB会のホームページを立ち上げました。

これからは、OB会報と合わせて、OB会や現役の情報をお伝えしていきたいと思います。特に練習・試合日程は欠かさずアップしていこうと思いますので、皆様もぜひグラウンドに足をお運びください。

なお、まだ検索エンジンにも出ませんし、他のHPにもリンクを張っていませんので、お手数ですが下記のURLを入力の上、アクセスしてください。

<http://www.ichiko-rugby-obc.com>

○ 編集後記

OB会報第8号は本年2月に発行予定でしたが、半年以上も発行が遅れてしまい、誠に申しわけありませんでした。先に開設したOB会ホームページと合わせて、これからもOBの皆様にはさまざまな情報をお伝えしていこうと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。

さて、昨年6月に創部60周年記念事業を実施した際、記念試合に招待した太田一高の監督(当時)の橋本晃輝君(昭和60年度第38回卒)が、奇しくも今年の4月から母校に着任し、後輩たちの指導に当たっています。橋本監督の今後の尽力と現役の活躍に大いに期待するとともに、1年間お世話になった鈴木康之監督にも心からお礼を申し上げます。

(編集担当幹事: 松永 啓)

日立一高ラグビー部OB会報 第8号

発行責任者: 幹事長 近藤 雅年(昭和32年度 第10回卒)

編 集 者: 幹 事 松永 啓(昭和40年度 第18回卒) 木下 俊雄(昭和54年度 第32回卒)

関 稔一(昭和57年度 第35回卒) 柴田 和則(昭和57年度 第35回卒)

笠井 知洋(昭和59年度 第37回卒) 菊池 敬(昭和61年度 第39回卒)

本田 浩一(平成2年度 第43回卒) 金澤 勉(平成4年度 第45回卒)

事 務 局: 〒317-0065 茨城県日立市助川町3-7-4 木下俊雄気付

【電話】0294-21-4890 (FAX同じ)